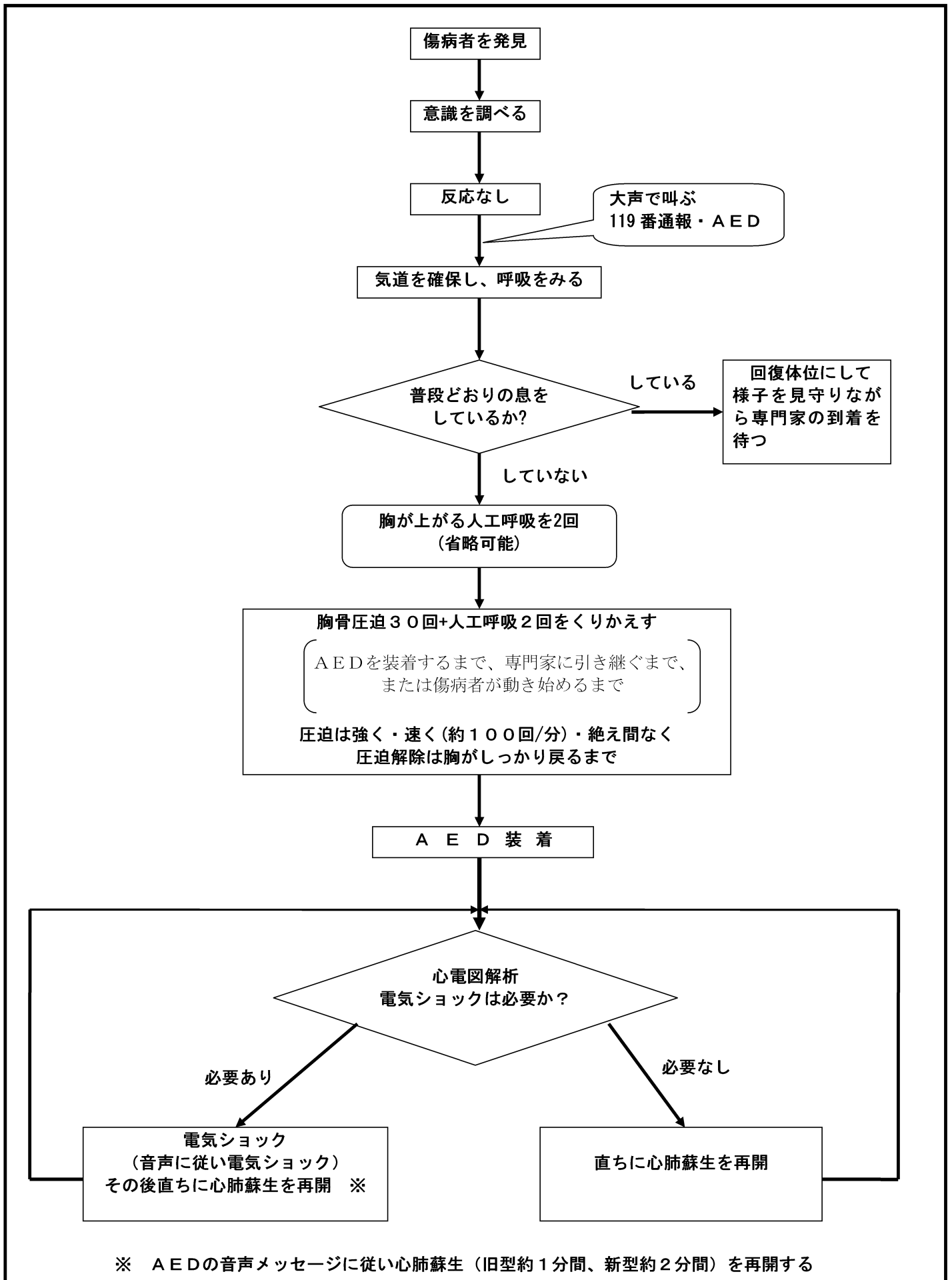


AEDを用いた心肺蘇生法の基本実技

AEDを用いた心肺蘇生法の流れ



※ AEDの音声メッセージに従い心肺蘇生（旧型約1分間、新型約2分間）を再開する

住民による一次救命処置の年齢別比較

年 齢		成 人 (8歳以上)	小 児 (8歳未満)	乳 児 (1歳未満)
一次救命処置				
通 報		反応がなければ 大声で叫ぶ	救助者が一人だけの場合、 心肺蘇生を2分間実施してから	
		119番通報・AEDの手配		119番通報
気道確保		頭部後屈あご先挙上法		
心肺蘇生開始の判断		普段どおりの息(正常な呼吸)をしていない		
人工呼吸(省略可能)		約1秒かけて2回吹き込む・胸が上がるの見えるまで		
		口 対 口		口 対 口鼻
胸骨 圧迫	圧迫の位置	胸の真ん中 (両乳頭を結ぶ線の真ん中)		両乳頭を結ぶ線の 少し足側
	圧迫の方法	両手で	両手で (片手でもよい)	2本指で
	圧迫の深さ	4～5cm程度	胸の厚みの1/3	
	圧迫のテンポ	1分間に約100回		
	胸骨圧迫と 人工呼吸の比	30:2		
A E D	装着のタイミング	到着次第		AEDは 使用しない
	電極パッド	成人用パッド	小児用パッド (ない場合は成人 用パッド)	
	電気ショック後の 対応	直ちに心肺蘇生を再開する (音声メッセージに従い 心肺蘇生を再開する)		
気道 異物に よる 窒息	反応あり	腹部突き上げ法 背部叩打法		背部叩打法 (片腕にうつぶせに乗せ)
	反応なし	通常的心肺蘇生の手順		